⑨ 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種　別	厚　さ	施　工　箇　所
・		
・		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)

種　別	厚　さ	施　工　箇　所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・ シルバー	・非歩行
・			・ カラー	・軽歩行

接着工法の場合　(9.4.3)

脱気装置　種類　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

ＰＣコンクリート部材下地　(9.4.4)

目地処理(接着工法)　※図示

入隅部の増張り(S-F1、SI-F1工法の場合)　・行わない　・行う(幅　mm程度)

④ 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー

⊙図示による

種別　Ｘ－１の脱気装置

・設ける　種類　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

⑤ シーリング

下表以外は標仕表9.7.1による。　(9.7.2)(表9.7.1)

施　工　箇　所	シーリング材の種類(記号)
誘発目地・外壁下端	ＰＵ－２
水切・笠木・建具取合い	ＭＳ－２

接着性試験　(9.7.5)

※簡易接着性試験　・引張接着性試験(施工部位　　)

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

⑥ 防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。

工 法 種 別	施　工　箇　所	保 証 期 間
⊙　塗膜防水　工法	図示	１０年間
・　工法		１０年間

※保証書の提出部数　正本　部・副本　部

10 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	等級	種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	仕上げの種類
・床石		※２等	※正方形に近い矩形			

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)

表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・　行う　(10.6.2)

屋内のワックス掛け　・　行う　(10.1.5)

⑪ タイル工事

① セラミックタイル

タイルの種類　(11.2.2)

施工場所・用　途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備　考
床	図示	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（※外装タイル　・　　）

内装タイル　・改良積上げ張り　(11.2.7)(表11.2.3)

外装タイル　・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り

ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り・モザイクタイル張り

2 壁タイル張り工法

下地モルタル塗り　※標仕15.3.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　　）

3 コンクリート素地面の処理

・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　(11.2.7)

施工範囲　※ 図示

⑫ 木工事

1 表面仕上げ

(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

2 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 2級　・				
			※ 2級　・				
			※ 2級　・				

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
見え掛り面			※ 上小節 ・				
見え掛り面以外			※ 小節以上 ・				

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 1等　・	※ 10%以下 ・		
			※ 1等　・	※ 10%以下 ・		
			※ 1等　・	※ 10%以下 ・		

⑫ 木工事

③ 造作用集成材

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	品名	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
手摺・笠木等	ツガ		図示		※ １等・ ２等
手摺	タモ		図示		※ １等・ ２等
床板,床見切,家具	ブナ		図示		※ １等・ ２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の等級
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：			
		化粧薄板：芯材：			
		化粧薄板：芯材：			

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

4 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
			・ 有り (・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級：　)	・適用する ・適用しない
			・ 有り (・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級：　)	・適用する ・適用しない

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
		・ 有り (・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 無し (　)	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・ 有り (・天然木化粧加工・塗装加工) ・ 無し (　)	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

5 直交集成板

・直交集成板（ＣＬＴ）　(12.2.1)

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

⑥ 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名
家具		※5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹　※2等以上　・1等 針葉樹　※C-D以上　・	ブナ
床下地		※5.5 ⊙12	※ 1類 ・ 2類	広葉樹　※2等以上　・1等 針葉樹　※C-D以上　・	ラワン

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理の適用	強度等級
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する (　) ・指定しない
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する (　) ・指定しない
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する (　) ・指定しない

⑫ 木工事

⑥ 合板等

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない

⊙パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
床下地		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ⊙20
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・構造用パネル

施工箇所	品名	等級	厚さ(mm)
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

7 接着剤

8 防腐・防蟻処理

ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.2)(12.2.3)

・ 防腐、防蟻処理を省略できるが樹種による製材　(12.3.1)(12.3.2)

適用部位：（　　）

・ 薬剤の加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・ 薬剤の接着材への混入

適用部位（　　）

・ 防虫処理

適用部位（　　）

⑬ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・	※0.4 ・
	・	

2 折　板　葺

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高(　)山ﾋﾟｯﾁ(　)　板厚　※ 0.6　・ 0.8
耐力による区分	・１種　・２種　・３種　・４種　・５種
材　料(規格等)	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　厚　mm）　・ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

③ と　い

材　種　※配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　(13.5.2)(表13.5.1) ・

鋼管製といの防露　※ 標仕表13.5.4による

掃除口　⊙有り　・無し

⑭ 金属工事

① あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※ 適用する。　(14.1.3)

② ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施　工　箇　所
※ＨＬ程度	
・No２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
⊙ＢＡ	タラップ

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	色合い	施　工　箇　所
・BB－１種	無着色	
⊙BB－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系　⊙ｽﾃﾝｶﾗｰ ・ﾌﾞﾗｯｸ	笠木
・		

④ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	⊙A種(板厚6.0mm以上)	図示
	⊙B種(板厚3.2mm以上)	図示
	⊙C種(板厚1.6mm以上)	図示
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3)(表14.4.2)

※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔(mm)			施　工　箇　所
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野　縁	
中央部	周辺部		
図示	図示	図示	図示

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

ふところが３ｍを超える場合の補強　※図示　・　(14.4.4)

⑭ 金属工事

6 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製法	材　種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し ・ﾛｰﾙ	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・BB-1種	無着色
					・BB-2種 ・	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ﾌﾟﾚｽ ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

⑦ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

オープン形式アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・250形	1.6以上	・BA-1種　・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・BA-2種　・ﾌﾞﾗｯｸ ・　・ｽﾃﾝｶﾗｰ	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		
・400形	2.0以上		

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⊙図示

⑮ 左官工事

① 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.4.2による　(表6.2.5)(15.4.1)(15.4.2)

施　工　箇　所	平たんさ(mm)	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(ﾊﾟﾈﾙ構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(溝構法)範囲	3mにつき　7以下	

2 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)(表15.6.1)

種　類	呼　び　名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	※砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸状 耐候性　※３種　・２種　・１種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　・ ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 外観　※つやあり　・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ 防水形は増膜を行う。

3 しっくい塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.6.2)

※施工箇所

室名	部位

※左官業者

新潟県左官業協同組合（平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。）の組合員が、新潟県左官業協同組合主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・見本の製作　(建具番号　　)　(16.1.4)

・特殊な建具の仮組等（建具番号　　）

2 防犯建物部品

③ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具の性能等級等(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)　(16.2.2)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３ ・	※Ｗ－４ ・	※７０ ⊙１００	図示
※Ｂ種	Ｓ－５				
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５ ・		

外部に面する建具の性能等級(木下地)　(16.2.2)(表16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３	Ａ－３	Ｗ－３		

表面処理　(16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種　別	色　合　い　等
外部建具	※BB-１種 ⊙BB-２種 ・	⊙無着色 ⊙標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　⊙ｽﾃﾝｶﾗｰ） ・
内部建具	⊙BC-１種　・ ・BC-２種	⊙無着色 ・標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

④ 樹脂製建具（ｱﾙﾐ複合）

外部に面する樹脂製建具の性能等級(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)(16.3.2)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４		
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地)　(16.3.2)(表16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－４	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３				

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級　(16.3.2)(表16.3.2)

性能等級	施工箇所
・Ｔ－１	適用箇所は建具表による
・Ｔ－２	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級　(16.3.2)(表16.3.3)

断熱性の等級	熱貫流率（W/（㎡･K）	施工箇所
・Ｈ－４	2.9以下	ｱﾙﾐ樹脂複合ｻｯｼ
⊙Ｈ－５	2.3以下	
・Ｈ－６	1.9以下	
・Ｈ－７	1.5以下	
・Ｈ－８	1.1以下	